

# 元辰チャーレズ

## 企業訪問

### 花田技研工業

間もなく設立2周年を迎えるベンチャー企業。一般廃棄物を燃焼させてできるガラス質の固化物「溶融スラグ」を利用した骨材原料の製造販売を手掛ける。

元塗料メーカー勤務で、主に建築外装用塗料や特殊塗料の研究開発に従事していた花田義和社長(39)が04年4月に立ち上げた。設立のきっかけは環



花田義和社長

境破壊への強い危機意識。塗料原料の骨材は主に海や山から採取していたため「罪悪感や申し訳なさ」が常に頭を離れ

「こみこ地産地消であるべき」と強調し、特許出願中の技術を全国に広めることで「こみ問題の解決に少しでも役に立てれば」と話す。

「ガラススラグの開発は自分にはできない」という自負と熱意が、安定した地位を投げうっての挑戦を支え

真つ黒な素材を独自のコーティング技術によってカラフルに着色。「こみ」でしかなかった物質を、工業用原料として生まれ変わらせることに成功した。

用途は建築・建材分野での意匠デザインのほかにも、道路舗装や園芸、ガーデンシグナなど幅

「資源循環型社会への意識はこれからです。まず強まるはず」と分析。「利益の追求よりも、技術を通じて環境保全に貢献し、社会から必要とされる企業であること」を第一義に考えたい」と力を込めた。

## 「技術を通じて

## 環境保全に貢献」

なかつたという。

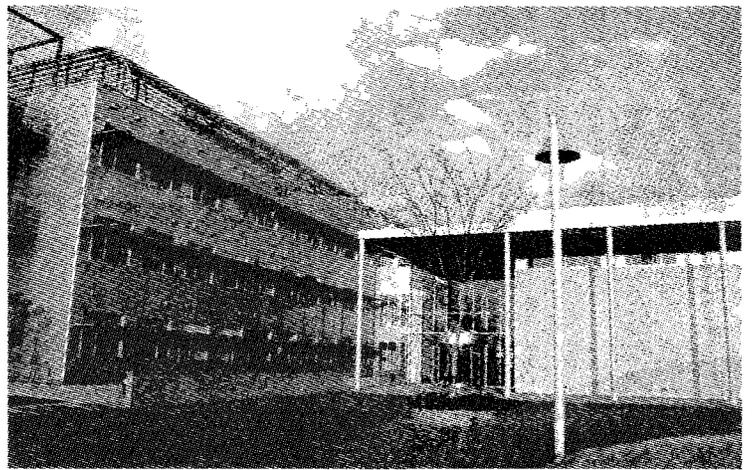
「環境に負荷を掛けない材料ができないか」

「。試行錯誤の末、従来は埋め立て処分に行っていた用途のなかった「溶融スラグ」に着目した。

広い。天然の砕石や砂の代わりとして利用できるように、環境保全の役割も併せ持ち「究極のリサイクル技術」として期待されている。

「情報が入ってこないなど零細企業ならではの苦労も多かったが、周

囲の支えが本当に大きかった」と振り返る。メーカー勤務時代に培った塗料技術を生かして特殊機能性断熱塗料(商品名「ダントツブ」)の開発にも乗り出すなど「感性と付加価値の創造」を根本の企業理念に据える。



同社が入居する岡山リサーチパークインキュベーションセンター (ORIIC)

【設立】2004年  
 【資本金】1千万円  
 【所在地】岡山市芳賀5-303 岡山リサーチパークインキュベーションセンター1206号

【従業員数】5人  
 【URL】http://www.hanada-giken.co.jp/